

令和6年度事業報告書

NPO 法人部活動リノベクエスト Labo

I 事業期間

令和5年12月1日～令和6年11月30日

II 事業の成果

(1) 会員限定のコミュニティ運営

本年度は、週2回のオンライン等による会員同士の交流に加え、各分野で活躍するメンバーの実践を共有し、異業種からの学び合いを行った。交流会を通して出会った会員同士が連携して、個々の活動の企画・運営を行う機会に繋がった。

現在、会員数はボード会員40名、正会員3名、特別会員7名、賛助会員15名にまで拡大した。

(2) 大会・イベントの企画・運営

学校・行政・民間との協働で学校を拠点したイベントを開催。高校生との運営の共催や学校施設（体育施設、学校食堂など）の活用の可能性、協賛企業等の協業にも挑戦し、成果を上げることができた。参加した子供たちや保護者からも高い満足度を得ることができた。本年度は合計9回のイベント運営及びブース出展を通して、多くの会員が運営に参加し、コミュニティの結束の強化に繋がった。

(3) 部活動運営に関する事業

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) (事業名) 部活動運営に関するコンサルティング事業

(内 容) 令和6年度の箕面市における中学校の部活動地域移行モデル事業、「箕面市地域クラブ活動実態調査及び体制整備事業」について箕面市教育委員会、スポーツデータバンク株式会社と協議し、実証事業を実施した。箕面市立彩都の丘学園（小中一貫校）に置き、箕面市全域の中学生を対象として27名が参加。（彩都の丘学園13名、とどろみの森学園11名、箕面市立第四中2名、箕面市立第六中1名）学校施設の活用、参加者の目的別コース別運営、保護者との連携の仕組み構築など実証を行った。前5回中3回が終了（令和6年11月30日現在）。引き続き残り2回の実証を実施予定（令和6年12月7日、15日）

(実施場所) 箕面市立彩都の丘学園

(実施日時) ①11月2日 ②11月9日 ③11月30日
④12月7日 ⑤12月15日

(事業の対象者) 箕面市全域中学生

(収 益) 0円

(費 用) 0

(2) (事業名) 大会・イベントの企画・運営事業

ア (内 容) 『novel 部活アカデミー-in 箕面プレ』
参加人数：168名（2日間の延べ数）

昨今の部活動改革や教員の働き方改革など、教育界では変動期となっている中、「NPO×学校×地域×外部×民間」が連携して新たなスポーツ・文化活動の場と文化を創出するため、箕面東高等学校（以下、箕面東高校という）とMGスポーツ株式会社（以下、MGスポーツという）と共催の元、開催した。

本法人に所属する多領域のトレーナー（S&C コーチ、理学療法士等）がそれぞれの知見を集結させて、子どもたちが潜在的に秘めた能力を覚醒することを目的としたLabo オリジナルのプログラムを開発。最新機器を使用して計測を行い、子どもたちの能力を「姿勢・可動域・調整力・反応能力・バネ指数・パワー値」に分類し可視化した。また、測定結果を元に、それぞれの能力の向上と将来的なケガの防止など今後のスポーツ・文化活動に繋げていくことを目的にトレーナーから直接メソッドを提供。子どもたちが「自分の現在地」を知り、「新たな自分」の発見に繋がる環境を創出することができた。

共催である箕面東高校の学生と協業で運営を行った。有志で集まった学生が「探求部」を創部し、本活動に主体的に参画した。探求部が独自に考案した能力テスト「みのひがLabo」と広大な学校施設を使った親子参加型の「謎解き&学校かくれんぼ」を参加者に提供。学生にとっては企画・運営を通して、学校外の人材との関りや学びの場となった。

本法人に所属するメンバーの強みを活かしたプログラムの提供も実施した。野球・サッカー・バスケットボールの3種目に分け、各専門家のコーチングを受けれる環境を創り、2日間通して子どもたちの特性に応じたメニューを提供した。子どもたちとの対話と目標設定をすることで「できた！」という体験から今後のモチベーションの醸成に繋げることができた。

その他にも、プロゴルファーによるゴルフレッスン、元プロボクサーアジアチャンピオンによるボクササイズ、公認心理士資格者による保護者向けセミナーなど多様なニーズに応えるプログラムを実施した。

イベントを通して、NPO・学校・民間との協業による可能性と学校施設の活用した安心安全な場づくり、トレーナーとの協業による質の高いプログラムの提供への可能性に手ごたえを感じることができた。一方、広報に関することや、参加者数が増加した時の人員配置や参加者の誘導などオペレーションの強化については引き続き課題として取り組んでいく。

(実施場所) 大阪府立箕面東高等学校（箕面市粟生外院5丁目4-63）
(実施日時) 令和6年3月23日（土）、3月24日（日）
(事業の対象者) 小学生、中学生、高校生
(収 益) 23,400円
(費 用) 336,397円

イ（内 容）『潜在能力覚醒Labo』

参加人数：小学生51名、中学生2名、高校生10名 計63名
3月に開催した『novel 部活アカデミーin 箕面プレ』に引き続き、以下の目的でイベントを開催した。

① 信頼のおける質の高い運動プログラムを多世代の子どもたちに提供

する仕組みづくり

- ② 学校・地域・外部・民間連携によって実現する新たなスポーツ・文化活動の場づくり
- ③ 持続可能な取り組みに繋げる学校施設の有効活用モデル（ヒト・モノ・カネの循環）創出

前回の課題の一つでもあったオペレーションに関する課題に挑戦するため、運動能力の測定とメソッドの提供である「潜在能力覚醒 Labo」に特化して開催した。集客においても Labo に所属するメンバーのチーム（繋がりのあるチームも含む）を中心に小学生、中学生、高校生の総勢 63 名が参加した。複数のグループに分け高校生にグループリーダー的役割を設けるなど、多世代の参加を活かした運用も実施した。その結果、高校生が小中学生の緊張の緩和やコミュニケーションを積極的に行い、多世代の交流について一定の成果が見られた。また、今回のイベントでは映像制作会社の協力の元、イベントのプロモーションムービーを作成することができ、今後の広報関係の拡大に繋げることができた。

今回のイベントでは本法人に所属するメンバーの繋がりでバスケットボールのイベントを開催する「NO LIMIT CAMP」とのコラボイベントを実施した。

参加した子どもと保護者のアンケート調査では満足度は 9 割以上と高い満足度となった。

部活動の地域移行に関する認知の低さが調査結果で知ることができ、多くの保護者が不安を感じていることがわかった。

また、地域移行されたクラブチームに求める期待では「学校の近くでの参加」「人材（指導者、運営団体）の確保」「人間教育が重視されている」「気軽にスポーツ・文化活動を楽しめる」といったニーズが多くあった。

(実施場所)	大阪府立箕面東高等学校（箕面市粟生外院 5 丁目 4-63）
(実施日時)	令和 6 年 6 月 16 日（日）
(事業の対象者)	小学生、中学生、高校生
(収益)	28,000 円
(費用)	26,700 円

ウ（内 容）『箕面東西激突！魅力バトル』

参加人数：42 名

一般社団法人箕面青年会議所が主催する、箕面市で活躍する人物や団体にフォーカスするイベントに、本法人の最新機器を活用した測定コンテンツを出展した。今後、イベント出展を通して本法人が構想する地域クラブや教育アカデミーの周知と測定コンテンツ（イベント出展用）のメニュー作りも目的として実施した。過去に実施した「潜在 Labo」のメニューから 2 種類（RSI バネ指数、反応能力）をピックアップして提供。小学生から高齢の方まで 42 名が参加し、気軽に能力測定に参加することができた。

(実施場所)	みのおキューズモール（箕面市西宿 1 丁目 15-30）
(実施日時)	令和 6 年 6 月 22 日（土）

(事業の対象者) 箕面市、その他地域住民
(収 益) 8,400 円
(費 用) 0 円

エ (内 容) 『第1回 novel 部活アカデミーin 箕面』
参加人数：30名

(実施場所) 大阪府立箕面東高等学校 (箕面市粟生外院5丁目4-63)
(宿泊場所) 勝尾寺 (箕面市勝尾寺)
(実施日時) 令和6年8月2日(金)、8月3日(土)
(事業の対象者) 小学生、中学生
(収 益) 662,000 円
(費 用) 665,023 円

①信頼のおける質の高いプログラムを様々な年齢の子どもたちに提供する仕組みづくり

②子どもたちの主体性・当事者性を高め成長マインドへつなげる

③少人数のグループ活動・食事・宿泊体験を通して、子どもたちのアントレプレナーシップを醸成

この3点を目的に2日間に渡り開催した。3月と8月開催したプログラム「潜在能力覚醒Labo」に加え、社会で活躍する起業家(本法人所属)が企画するアントレプレナープログラムをはじめ、プログラムの各所に主体性と当事者性を育む仕組みを取り入れた。

今回は、希望制でプロトレーナーから直接コーチングを受けることが出る「アスリートコース」のプログラムを提供。測定機器を使って重心位置のコントロール(調整力)、認知能力等を組み合わせたトレーニングを実施。自分の競技につながる体験を実感した。

府立箕面東高校の学生が「水鉄砲バトル」の企画・運営を行い、当日編成したチームで協力し合い勝利を目指した。

また、管理栄養士が監修・調理する「部活メシ」を提供。学校食堂活用の可能性に挑戦し、成果を得ることができた。食事の際も管理栄養士が参加者に声をかけ、食事の大切さを学ぶ機会になった。

今回、本法人の理念に共感をいただいた勝尾寺で宿泊プログラムを実施。副住職の方から「還暦六十写干支御守」のプログラムの提供、宿坊体験、境内の散歩など非日常体験を行った。また、グループセッションやフィードバック会では小学生、中学生、高校生、大人がグループに分かれて「理想の将来」など未来について語った。多世代の多様な考えに触れる機会になった。

2日目に実施した「部活クエスト」では野球、バスケ、BMX、陸上、バレーボール、弓道の分野のスキルを専門コーチや高校生からレクチャーを受け、ミッションをクリアしていくマルチ部活型RPG体験を実施。参加者のスポーツに対する多様なニーズに応えることができた。

そして、今回開催のイベントでは「彩都天然温泉 すみれの湯」様より協賛をいただきスポンサー獲得ができたことも大きなせいである。

オ（内 容） 『ウェルビー夏祭り 2024』

参加人数：20名

これまで開催した「潜在能力覚醒 Labo」で繋がりを持つことができたイベント会社「株式会社リベント」からのオファーを受け、測定機器を活用した「未来型運動テスト体験」のブース出展を行った。

今回のプログラムでは6月22日出店した際の測定項目に加え3種類（RSI バネ指数、反応能力、認知能力）の項目を測定した。

今後、子どもたちだけでなくどの世代にも効果的に参加できるコンテンツとして認知能力の試行を行い、手応えを感じることができた。継続して試行とフィードバックを行い、ブラッシュアップをしていく。

（実施場所） ABCハウジング ウェルビーみのお（箕面市今宮1丁目1-1）

（実施日時） 令和6年8月4日（日）

（事業の対象者） 箕面市、その他地域住民

（収 益） なし円

（費 用） 5,000円

カ（内 容） 『競技スプリント体験会』

参加人数：10名

本法人に所属するトレーナー久保雄一郎氏に講師を依頼し、体の動かし方や動作について知識面と実践面の両側面から講習を実施した。

正しいフォームの習得には、人の骨格や関節の役割、姿勢などが関係することを学び、その役割に対してメソッドを実施。プログラム実施前と実施後に測定を行い、数値の変化からフィードバックを行った。野球、陸上、サッカーなど多種目の競技を行う子どもたちが参加し、それぞれの競技に繋がる内容となった。

（実施場所） 大阪府立箕面東高等学校（箕面市粟生外院5丁目4-63）

（実施日時） 令和6年9月15日（日）

（事業の対象者） 小学生、中学生

（収 益） 0円

（費 用） 5,000円

キ（内 容） 『日本青年会議所大阪ブロック大会 枚方大会フェスタ』

参加人数：87名

日本青年会議所が主催し、大阪府内各市の青年会議所が出展するイベント。各市の特産品や魅力をアピールする出展を行う。箕面市青年会議所とは6月のイベント出展や8月に開催した「第1回 novel 部活アカデミーin 箕面」などを通して、本法人のビジョンや取り組みを共有してきた。箕面市の子どもたちの体力が低下傾向にある社会課題の解決にもなりうると箕面青年会議所からオファーを受け、最新機器の測定コンテンツを出展した。

測定内容は、4種目（RSI バネ指数、反応能力、認知能力、バランス力）を測定項目とした。これまでのブース出展も含めて、イベント出展のメニューはほぼ構築できた。

当日は、測定機器の専門家や理学療法士も運営スタッフとして参加し、測定した結果のフィードバックを行った。

(実施場所) ニッペパーク岡東中央 (枚方市岡東町 79-1)
(実施日時) 令和6年9月29日(日)
(事業の対象者) 枚方市、その他地域住民
(収 益) 0円
(費 用) 0円

ク (内 容) 『ReLIVE』

参加人数：幼児～小学生5名、大学生4名、社会人1名
「立命館の応援文化を醸成する」というビジョンの元、学生が主体となって運営を行うプロジェクト。今回はフィールドホッケー部のホーム試合を企画し、持続可能なホームゲームの運営体制の構築に挑戦。これまで実施した Labo のイベントで関係者との繋がりで運動神経テストのブース出展を行った。測定はRSI バネ指数、反応能力、バランスの3種目と認知能力に分けて実施した。認知能力の測定では5段階のレベルを参加者が選択し、景品の獲得を目指してクリアする形式で実施。参加者にブース内容が伝わる装飾や周知方法を次回のイベントでの課題として取り組んでいく。
また、測定の評価基準についても実施を重ねて検討し、Labo オリジナルの評価指標を構築していきたい。

(実施場所) 立命館大学いばらきキャンパスF棟 (茨木市岩倉町 2-150)
(実施日時) 令和6年10月13日(日)
(事業の対象者) 大学関係者、その他地域住民
(収 益) 4,100円
(費 用) 7,898円

ケ (内 容) 『東住吉キッズベースボールパーク』

参加人数：44名
東住吉区の未就学児、小学生を対象にした野球体験を開催し、野球人口の増加、新しいブカツのモデルづくりを目的としたベースボールフェス。当日は3つコースを参加者が選択し、それぞれのテーマで野球を楽しんだ。学校施設を活用して広大なグラウンドで野球に親しむ姿が見られた。運営には中学生や高校生も参加し、中高の連携を図ることも繋がった。
イベントの最後には本法人の理事長からあいさつの中で、今後の部活動が学校から切り離される「部活動地域移行」の現状について話があった。今後の部活動に関わる小学生世代の保護者が関心を持ち、個別で話す場面もあった。

(実施場所) 大阪府立東住吉高等学校 (大阪市平野区平野西 2丁目 3-77)
(実施日時) 令和6年10月19日(土)
(事業の対象者) 東住吉区幼児、小学生
(収 益) 13,200円
(費 用) 17,174円

コ（内 容） 『ABC まるスポフェスタ 2024』 Labo フェスタ
参加人数：63名（2日間の延べ人数）幼児10名、小学校低学年28名、小学校高学年7名、中学生5名、高校生2名、社会人7名、主婦4名
付き添い保護者83名
朝日放送テレビが主催するイベントで、地域創生への貢献を目的に開催。主催者が本法人の理念に共感し、イベントのメインコンテンツとして出展の要望があり実施。会場のウェルビーベースで2日間に渡り本法人のプログラムを実施した。

1日目(23日)

- ・ミライアクションプログラム
- ・子ども主体 Labo
- ・シン・運動神経テスト
- ・狩猟本能 Labo
- ・部活動変わるってよ Labo

ミライアクションプログラムでは本法人に所属し、東京オリンピック TEAM JAPAN の専属トレーナーの経験を持つ栄徳氏によるプログラムを実施。「野球・チアリーディング・バレーボール」の3競技で、各競技のスキル習得に必要な身体の使い方を知識面、実践面から学ぶ機会を提供。

子ども主体 Labo では、小学生と府立箕面東高校の学生が協働でプログラムの立案・企画・運営を行った。オンラインを活用して事前ミーティングも3回実施し、高校生のアドバイスが小学生の想いに寄り添う場面もあった。高校生にとっても学校では体験できない機会となった。

2日目(24日)

- ・スポーツリズムトレーニング Labo
- ・シン・運動神経テスト
- ・大人力向上 Labo
- ・部活動変わるってよ Labo

スポーツリズムトレーニング Labo では、一般社団法人スポーツリズムトレーニング協会に所属する本法人のメンバーによるプログラムやNPO法人 BeLive を運営するメンバーのプログラムなど、多様な方々がプログラムを開催した。

昨今、近々の課題となっている部活動改革を切口に、学校教育の危機的状況や新たな「ミライのブカツ」のビジョンを共有する、「部活動変わるってよ Labo」を開催。今後の部活動に関わる保護者や高校生が参加し、今後のミライについて意見交換・議論する場となり、参加者のニーズに合った内容となった。

今回実施したプログラムの質の高さに手応えを感じたものの、その良さをいかに顧客に周知していくかという課題発見にも繋がった。

(実施場所) ABCハウジング ウェルビーみのお（箕面市今宮1丁目1-1）
(実施日時) 令和6年11月23日（土）、24日（日）
(事業の対象者) 箕面市、その他地域住民
(収 益) 0円

(費用) 5,000円

- (3) (事業名) 情報収集・提供事業
(内容) 『会員限定オンラインサロン』
本年度は箕面市教育委員会との協働で部活動地域移行コミュニティ内でしか知りえない部活動改革に関する最新情報を学校現場、行政、民間などの多方面の視点から配信。本法人が取り組むイベントやプロジェクトの進捗状況を投稿し、子どもたちの明るい未来の創る仕組みづくりにつなげている。

(実施場所) Facebook
(実施日時) 随時配信
(事業の対象者) 会員限定
(収益) 0円
(費用) 0円

- (4) (事業名) 交流・ネットワーク支援事業
(内容) 『オンライン交流会』
会員限定で参加できるオンライン交流会。前年度に引き続き、会員同士の交流や法人が展開するプロジェクトの情報共有や意見交換を行っている。本年度は、イベントの主催や部活動地域移行に関するプロジェクト、地域クラブ創設に向けた事業展開など具体的なプロジェクトの進捗があり、情報の共有だけでなくプロジェクトの打ち合わせや議論の場としても活用した。
また、プロジェクトを進める中で幼児教育の専門家や学習塾の運営者などの参加を募り、教育者、企業人など各業界の方たちとリアルな現状と今後の未来について意見交換を行う企画を実施するなど、交流会の拡大を図った。
開催時間について、22:00としていたがメンバーが参加しやすい時間にするため、年度途中で21:00に変更して運用を試みた。

(実施場所) zoom オンライン、メタライフ (メタバース)
(実施日時) 毎週火曜日 22:00、21:00
(事業の対象者) 会員限定
(収益) 0円
(費用) 0円

- (5) (事業名) 交流・ネットワーク支援事業
(内容) 『夢がモリモリラジオ』
会員限定で参加できるラジオ風交流会。プロジェクトの進捗状況や今後の展望や展開などを配信。また、会員にゲスト出演してもらい個人の取り組みや、その活躍を紹介し、お互いの理解や応援し合う場としている。
(実施場所) zoom オンライン
(実施日時) 毎週土曜日 6:30
(事業の対象者) 会員限定
(収益) 0円

(費用) 0円

2 その他の事業

(1) (事業名) 物品販売事業

特になし

(2) (事業名) 書籍販売事業

特になし

(2) (事業名) 書籍販売事業

特になし

IV 社員総会の開催状況

第1回総会

(日時) 令和6年1月27日 20:00~21:30

(場所) zoom オンライン

(社員総数) 39名

(出席者数) 29名 (うち委任状出席者0名、書面表決者16名)

(内容) 〈期末決算報告〉

①第1期事業報告

②第1期決算報告

〈決議事項〉

第1号議案 役員報酬(役員賞与)について

第2号議案 役員報酬(小西監事)廃止について

第3号議案 今後の会員費変更について

第2回臨時総会

(日時) 令和6年4月27日 20:00~21:30

(場所) zoom オンライン

(社員総数) 47名

(出席者数) 33名 (うち委任状出席者0名、書面表決者19名)

(内容) 〈決議事項〉

第1号議案 役員報酬額の決議機関の変更

第2号議案 総会・理事会の連絡、決議書提出方法の変更

第3号議案 議事録の署名の変更について

V 理事会その他の役員会の開催状況

第1回理事会

(日時) 令和5年12月15日

(場所) オンライン (zoom)

(出席者数) 7名

(内容) ・第1期決算に関する書類について

- ・第2期事業計画、活動予算について
- ・資金調達計画について
- ・役員報酬について
- ・会員募集計画について

第2回理事会

- (日 時) 令和5年12月29日
(場 所) オンライン (zoom)
(出席者数) 5名
(内 容) ・期末決算書類の確認と議決
・役員報酬について
・会員費の変更

第3回理事会

- (日 時) 令和6年2月18日
(場 所) オンライン (zoom)
(出席者数) 名
(内 容) 1. 事務局の動向の共有
・これまでの経緯
・組織運営について共有

2. 約款・会則の変更について
・現定款での課題を整理
・変更する目的を説明
・役員報酬を総会決議事項の修正
・理事会、総会の日程案

第4回理事会

- (日 時) 令和6年4月5日
(場 所) みのお市民活動センター
(出席者数) 9名
(内 容) 定款変更について
・役員報酬の決定機関の変更

第5回理事会

- (日 時) 令和6年5月25日
(場 所) オンライン
(出席者数) 8名
(内 容) ・日本金融公庫の融資について
・6月開催イベント「潜在能力覚醒 Labo」について

第6回理事会

- (日 時) 令和6年10月27日
(場 所) 大阪府立大手前高等学校
(出席者数) 9名
(内 容) ・役員報酬について
・企業協働の取り決めについて
・組織改編について (理事の改編)

第7回理事会

(日 時) 令和6年11月15日

(場 所) オンライン

(出席者数) 9名

(内 容)

- ・理事の改編について決議
- ・11月23日・24日イベント「まるスポフェスタ」について
- ・今後の部活動地域移行の実証について